



2012年1月25日

*Press Release*

楽天証券株式会社

## 大手ネット証券初、アセアン主要4カ国197銘柄を取扱い開始

— シンガポール・マレーシア・タイ・インドネシアの株式が直接取引できます —

楽天証券株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2012年2月（予定）を目処に、アセアン主要4カ国（シンガポール・マレーシア・タイ・インドネシア）の現地取引所に上場する株式（以下「アセアン株式」）の197銘柄をインターネットで直接注文できる環境を提供いたします。これらは、大手ネット証券で初めての取扱いとなります。

本サービスでは、事前に為替取引の必要がなく日本円で直接決済でき、取引画面や各銘柄情報を日本語で提供するなどお客様がスムーズに取引を行える環境を実現いたしました。

アセアン諸国は、日本をはじめとする先進国の企業が多数進出していることや、昨今の軟調な欧米の市況を背景に、個人投資家の新たな投資先としての注目度が高まっている地域です。2011年12月に実施した楽天証券個人投資家アンケートでは、東南アジアを投資先として注目する個人投資家の割合が、2年前の同時期に比べ2年間で15%上昇し、約4割を超える結果となりました。

楽天証券ではこのようなニーズを受け、今後の世界経済を牽引すると期待されている東南アジア主要4カ国のシンガポール・マレーシア・タイ・インドネシアの現地取引所に上場する株式を一挙に197銘柄取扱いいたします。

なかでも、シンガポール証券取引所はETF（上場投信）の取扱いにおいて、アセアンで最大規模の市場です。弊社では、サービス開始時より、バングラデシュやパキスタンといったフロンティア市場に投資できるETFをはじめとした、46銘柄を一挙に取扱いいたします。

弊社では、他社に先駆けて海外ETFの取扱いを開始いたしましたが、今後も海外事業の展開を促進し、グローバル化する投資ニーズに即したサービスを提供することにより、一層の顧客基盤の拡大を図ってまいります。

■ □ 『アセアン株式』 サービス概要 □ ■

■ サービス開始日

2012年2月中（予定）

■ 取扱い銘柄（予定） 合計

取扱国	銘柄数	主な銘柄
シンガポール	上場株式：26 銘柄	キャピタランド、ケッペル、ノーブル、シンガポール・テレコム、DBS など
	ETF : 46 銘柄	リクソーETF・ナスダック 100、リクソーETF MSCI・エマージング・マーケットなど
タイ	50 銘柄	サイアムセメント、タイ石油公社、アユタヤ銀行、タイ・オイル、バンプーなど
インドネシア	45 銘柄	アストラ・インターナショナル、インドサット、ブミ・リソーシズ、TIMAH、アダロ・エナジーなど
マレーシア	30 銘柄	ペトロナス・ガス、エアアジア、ゲンティン、テナガ・ナショナル、パブリック・バンクなど

■ 取引チャネル

弊社 Web サイト（PC のみ）、電話注文

■ 手数料

- ・インターネット注文による委託手数料（Web、モバイル）  
約定代金の 1.05%（1 回／最低手数料 525 円（税込））。
- ・カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎによる委託手数料  
インターネット注文による委託手数料に 2,100 円（税込）追加されます。

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「[投資にかかる手数料等およびリスク](#)」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会